

# ふらっと通信



第15号

発行:南房総市 富山地域づくり協議会「ふらっと」  
企画編集:地域づくり支援員(三橋・原)  
〒299-2292 南房総市久枝257番地(南房総市富山支所内)  
メールアドレス:tomiyamachiikidukuri@sunny.ocn.ne.jp

TEL 0470-57-3799  
FAX 0470-57-3002



(抱きスコップを使い、穴を掘って球根を植えていき、慣れない作業に学生たちは疲れたようです)



(植栽作業を前に記念写真「収まる学生とふらっとの会員」)

## 「ふらっと」と成蹊大学の学生が水仙の球根を植栽

「ふらっと」は、9月9日に富楽里から竹内(たけのうち)に抜ける県道外野勝山線沿い(市部バイパス)竹内寄り約250メートルに、学生と一緒に水仙の球根を植えました。今回の植栽は、武蔵野市にある成蹊大学ボランティア本部から、夏合宿に訪れる南房総市でボランティア活動を行いたいとの申し出を受け入れて、実現したものです。植栽には「ふらっと」の会員と成蹊大学学生35名が7班に分かれて約3500球の球根を植えました。

### 午後からは平群小に移動してグラウンドの草取りに

学生たちは丸一日、ボランティア活動に汗を流し、この場でしか得られない貴重な経験ができたでしょう。



トラックにはり出した芝や草をとる学生たち

### 地域の話

#### 富楽里稲刈体験に10グループ 27人が里の秋を満喫



富楽里の稲刈体験が、9月24・25日に吉井農村公園脇の田んぼで行なわれました。この稲刈体験には、5年前の当初から毎年参加しているグループが多く、のこぎり鎌を使って稲を刈り、家族で里の秋を満喫していました。

#### 岩井地区社協で11月26日に「地域福祉フォーラム」を開催

岩井地区社会福祉協議会(伊丹幸司会長)では、「地域福祉フォーラム」を富山公民館で11月26日の13時30分から開催します。当日は、認知症について事例発表やパネルディスカッションなどが行なわれます。ぜひ、ご来場ください。



(4月に行なわれた「地域福祉フォーラム」の認知症講座)

### わがふるさと富山⑭

10月に入ると涼しくなり、日本酒のおいしい季節になります。ところで、久枝区には明治14年から明治29年までの「自飲酒取調」という文書が残っています。自飲酒とは文字通り自分で飲むための酒(どぶろく)です。もちろん今では、各個人でお酒を造ることは禁じられています。明治13年には、自家用酒醸造の届けを出して免許鑑札料を払うと、



秋の夜長の一日、自家用酒醸造登録の羨ましい時代に思いをはせながら、お酒を楽しんではいかがでしょう。か。(久枝区に残る自飲酒取調)

### 久枝区に残る自家用酒醸造の届

スポーツ少年団岩井イーグルス(川崎慎一監督)選手数31人。昭和54年に発足した少年野球チームです。「みんなの中で自分の意見が言える子ども。あいさつが言えて、返事の



(8月26日に行なわれた南房総ふせひめ少年野球大会での記念写真)

スポーツ少年団岩井イーグルス(川崎慎一監督)選手数31人。昭和54年に発足した少年野球チームです。「みんなの中で自分の意見が言える子ども。あいさつが言えて、返事の

### 「存ぞくぞくが、こんな活動

富山地区内では、産業・環境・福祉・ボランティア・公民館活動にいろいろな団体が、それぞれの目的をもっていろいろな活動を行っています。今月は、スポーツ少年団岩井イーグルス(少年野球チーム)をご紹介します。

### 読者の投稿コーナー

ただいま、熱中しています。荒川在住 高橋八千代さん(50歳) 次回は、齋藤智彦さんにリレー

### 熱中リレー

今、私が熱中しているのは道の駅富楽里。というのは、母がつくった野菜や果物を富楽里に持っていき、馴染みのお客さんに食べ方や料理の仕方を教えたり、又、逆に作り方を教えてもらったりして楽しんでいきます。



(野菜づくりの得意なお母さんの秋子さん《中央》と長男の涼さん《左》と一緒に写真に収まる八千代さん)

### ◆伏姫と八房のたわ言◆

千葉県、特に南房総は、最近では地震や台風などの大きな被害がなく、日頃、本当に住みやすいところだなあと感じています。ところで、先月の21日、台風15号により私の住んでいる一部で停電が5時間あまりも続き、あわててラジオの電池を買いに行きました。東日本大震災時の停電を経験して半年余り、1年もたたずに、その経験が教訓として活かされていく「備えあれば憂いなし」という言葉がしみじみと感じられました。

地域づくり支援員

# 保育園児たちと「ふらっと」の手で植えた 彼岸花が美しい花を咲かせました



(散歩途中のおばあちゃんとお孫さん。彼岸花と一緒にパチリ)

県道外野勝山線(市部バイパス)に、7月16日に白鳩保育園児たちと「ふらっと」の手で植えた彼岸花。彼岸の中から一週間遅れの、9月下旬から10月初旬に、真っ赤できれいな花を咲かせてくれました。



(1年目にしては、大きく咲いてくれた彼岸花)

市部バイパスに、「ふらっと」と白鳩保育園児とその家族と一緒に植えた彼岸花が、9月下旬から10月上旬に真っ赤なきれいな花を咲かせました。これは、「訪れる人も住んでいる人も楽しめるまち」を目指して地域づくりを推し進めている一つで、数年度計画で「市部バイパス」を花いっぱいにしていくとします。

植栽1年目のため、1本1本の間隔が広く、10月初旬には風の影響で茎が折れてとても残念でしたが、来年には、もっと株を増やして、よりきれいに咲いてくれると思います。



(心ない人が車から捨てたと思われる煙草の吸殻と空き缶(内))

心ないドライバーによって、タバコの吸殻や空き缶などが散乱

心ないドライバーによって、市部バイパスはタバコの吸殻や空き缶・紙くずなどが散乱して、せつかくのきれいな道路も咲いてくれた彼岸花もだいなしです。

道路も空き地も自分の庭と違ってゴミを捨てないこと。ごくごく、当たり前のことではないでしょうか。

## 遊歩道を広範囲にわたる 草を刈る

### 第3回目の親水公園遊歩道清掃活動

地域を巻き込んだ「ふらっと」の活動、第3回目の岩井川親水公園の清掃が9月24日にあり、富山支所下の遊歩道から親水公園の広範囲にわたり、草刈作業を行いました。

同日には、市部バイパスでの水仙の球根植栽もあり、草刈り作業には10人が参加し、久枝区長の若王子さんも参加していただき、親水公園のススキの除去・遊歩道の雑草の草刈と、約2時間汗を流しました。



(斜面は滑りやすく植栽作業も大変でした)

私は、毎朝犬を連れて岩井海岸に必ず散歩に行きます。沖の方から太陽の日差しが照りつけ海がキラキラと輝く光景が大好きでした。3月11日の東日本大震災の発生により、美しい海と恐ろしい海が心の中で交差しております。東北地方の被災された方々にお悔やみ申し上げます。

私の考える地域づくり



高崎在住  
笹本幸喜さん

さて、東北地方の被災された皆様方の話をマスコミやその他のいろいろな情報機関の情報を得て、「他人事ではない、明日は我が身」と痛感させられました。

大津波を含む自然災害を克服することは不可能ですが、自然災害に少しでも対応できる事を、自分なりに行動していきたいと思っています。

約600球の

水仙を植栽

市部バイパスに

親水公園清掃活動と同じ9月24日、「ふらっと」会員5名で、市部バイパスの彼岸花植栽場所の道路斜面に約600球の水仙を植えました。(写真中央右)

冬になれば、水仙の可憐な花が、散歩する人たちを楽しませてくれるでしょう。



(コンクリートの間に生えているススキの除去が大変でした)

### 平成23年10月・11月の「ふらっと」会議・活動予定

- 10月31日(月) おらが庭部会会議 19:00~21:00 富山支所
- 11月11日(金) 全体会議 15:30~17:30 富山コミュニティセンター
- 11月26日(土) 第4回岩井川親水公園清掃活動 9:00~11:00

富山地域づくり協議会「ふらっと」に参加したい方・興味のある方は、会議の様子などいつでも自由に見学できます。富山支所に常駐している地域づくり支援員にお尋ねください。ふらっとの活動は、南房総市のホームページ内の**みんなネット**にも随時掲載されます。